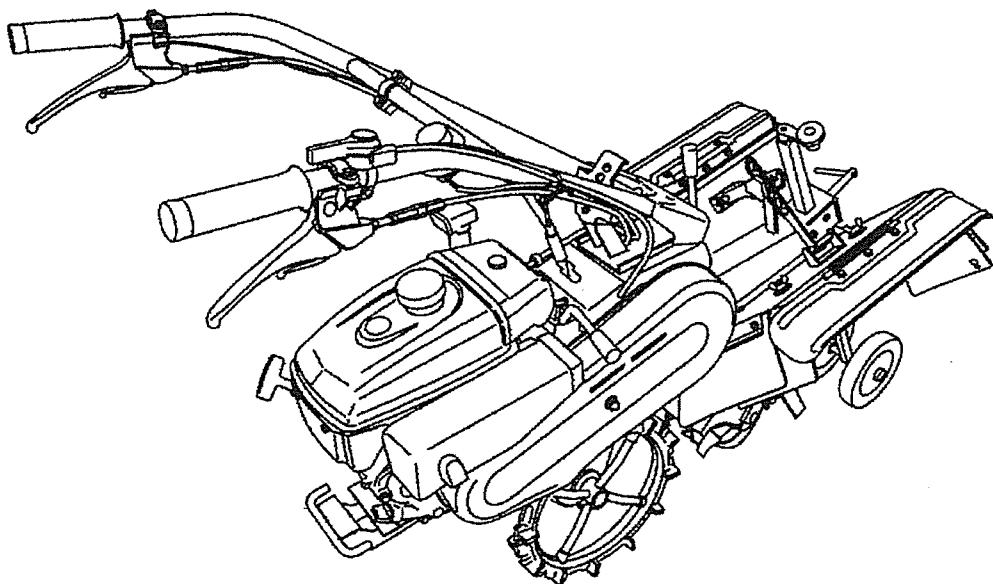


ヘルパー

ロータリ専用機

取扱説明書

K802NH-D



当製品を安全に、正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

はじめに

このたびは本製品をお買上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からぬことがあった時には取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に張られた ⚠ の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取り扱い説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように説明しています。



危険: 注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことになるものを表示します。



警告: 注意事項を守らないと死亡または重傷を負う危険性があるものを表示します。



注意: 注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを表示します。

目次

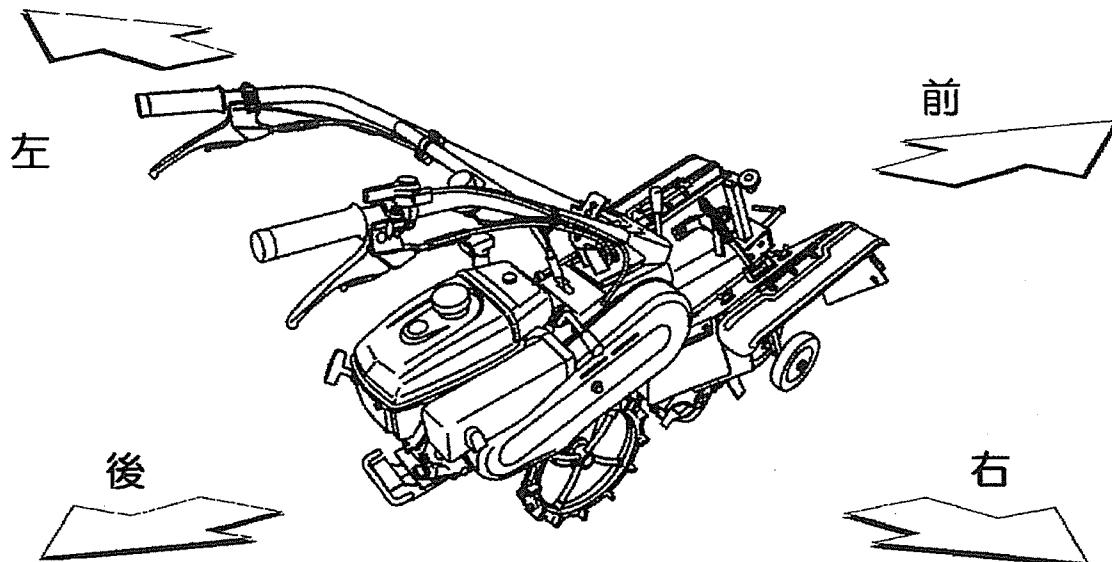
安全に作業するために	1
警告ラベルとその取扱い	8
作業時の注意・禁止事項	10
サービスと保証について	11
各部の名称と取扱い	12
上手な運転のしかた	16
1. 運転のしかた	17
2. エンジンの始動	18
3. 停止のしかた	19
4. 発進のしかた	19
5. ロータリ作業	20
6. 爪軸と耕うん爪の取り付け方	21
こんなときどうする	22
1.エンジンオイルの交換	22
2.エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換	22
3. フィルターポットとフィルターエレメントの清掃と交換	22
4. 点火プラグの調節と清掃	23
5. ミッションオイルの交換	23
6. Vベルトの張りの調節	23
7. ロータリクラッチの調節	24
8. 耕うん軸へのグリスの塗布	24
9. 長期格納のしかた	25
仕様・諸元	26



安全に作業するため

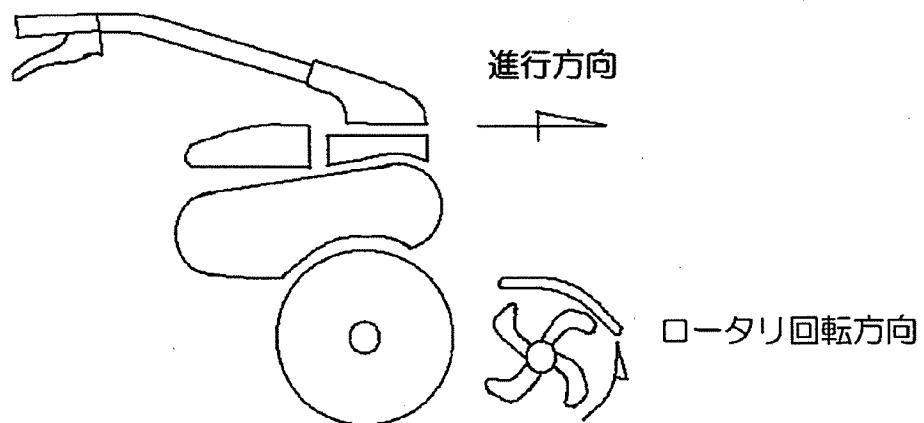
本機をご使用になる前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、理解した上で安全な作業をしてください。

この「取扱説明書」で使用している〈前後、左右〉などの〈用語〉は図示のように決めています。



ハンドル位置と進行方向およびロータリ回転方向

この機械は下図の形で作業を行ってください。





安全に作業するために

管理機の取扱いは正しく、ちょっととした油断がもとで、思わぬ事故を招くことがあります。安全で効率的な作業を行うために、次のことをお守りください。

	警告 こんなときは運転しない	<p>1. 体の調子の悪いとき 2. 酒を飲んだとき 3. 妊娠しているとき 4. 16才未満の人 (守らないと) 死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。</p>
	警告 作業に適した服装。	<p>1. はち巻・首巻・腰タオルは厳禁 2. だぶつきのない服装 3. ヘルメットなどの防護具の着用 (守らないと) 機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。</p>
	警告 他人に機械を貸すときは取扱い方法を説明する。	<p>取扱い方法を説明し、使用前に取扱説明書を必ず読むように指導してください。 (守らないと) 死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。</p>
	警告 機械の改造禁止	<p>純正部品や指定アタッチメント以外の部品を取り付けないでください。 機械を改造しないでください。 (守らないと) 死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。</p>



安全に作業するため



警告 点検・整備を行う

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

定期の点検・整備を必ず受けてください。

(守らないと)

事故・ケガ・機械の破損を招く恐れがあります。



警告 ロータリー作業ではダッシュに注意

土が硬かったり石の多い場所ではロータリーをゆっくりと地面に降ろしてください。回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出す(ダッシュ)ことがあります。

(守らないと)

傷害事故を引き起こす恐れがあります。



警告 ハウス内での作業では換気を充分にする。

排気ガスが充満しないように充分換気を行ってください。

(守らないと)

排気ガス中毒を起こし、死亡することがあります。



警告 子供を近づけない。

子供には十分に注意しロータリーに乗せたり近づけないようにしてください。

(守らないと)

傷害事故を引き起こす恐れがあります。



警告 作業機を装着するときは、作業機の取扱い説明書を読む。

作業機を装着するときは、事前にかならず作業機の説明書をよく読んで理解してください。

定期の点検・整備を必ず受けてください。

(守らないと)

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



安全に作業するために



警告

作業機の脱着は平坦な場所で行う。

作業機の脱着は平坦で安定した場所で行ってください。

夜間は適切な照明をしてください。

(守らないと)

傷害事故や機械の破損を引き起こします。



警告

溝、あぜ越えは、アルミニウム板を使用する。

ほ場に入るとき、溝、あぜを渡るとき、軟弱な所を通る時は、幅、

長さ、強度のあるアルミニウム板を使用してください。

(守らないと)

転倒やスリップによる事故を起こす恐れがあります。



警告

点検・整備は平坦な場所で行ってください。

機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所でタイヤに輪止めをして行ってください。

(守らないと)

機械が転倒するなど、思わぬ事故を招く恐れがあります。



警告

点検・整備中はエンジン停止。

点検・整備・修理・または掃除を行うときはエンジンの回転を停止してください。

(守らないと)

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告

カバー類は必ず取付ける。

点検整備などで取り外したカバー類は必ず元通りに取付けてから作業をしてください。

(守らないと)

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



安全に作業するために



警告 下にもぐったり、足を入れない。

ロータリーの点検・整備をするときは、下にもぐったり足を踏み込んだりしないで下さい。

(守らないと)

ロータリーが下がったときに傷害事故を負う恐れがあります。



危険 燃料補給、給油時は火気厳禁。

エンジンを停止し、くわえタバコ、裸火照明は絶対にしないこと。

(守らないと)

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



警告 爪に巻き付いた草などを取り除く時は管理機のエンジン回転を停止する。

(守らないと)

機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。



警告 尾輪の調整は浅めに設定

ボルトは調整後確実に締め付けること。また、適時に緩みなきよう確認してください。

(守らないと)

機械がダッシングを起こしたりすることがあり重傷を負う危険があります。



危険 燃料キャップを閉め、こぼれた燃料はふき取る。

燃料を補強した後は、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料をきれいにふき取ってください。

(守らないと)

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。



安全に作業するために



警告

排気ガスには充分に注意する。

締め切った室内ではエンジンを始動しないでください。

エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむおえず屋内
で始動する場合は充分に換気してください。

(守らないと)

排気ガス中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。



注意

マフラーの高温に注意。

運転中及びエンジン停止後のマフラーは高温です。触れないでください。

(守らないと)

ヤケドをする恐れがあります。



警告

マフラー・エンジン周りのゴミは取り除く。

マフラー、エンジン周辺にゴミ、ワラクズ、燃料が付着していないか
毎日作業前に点検してください。

(守らないと)

火災事故を引き起こす恐れがあります。



警告

坂道、アユミ板の上では変速禁止。

適正な速度段を選択し、坂道やアユミ板の上では主クラッチを切ったり
変速をしたりしないでください。

(守らないと)

事故を引き起こす恐れがあります。



警告

運搬は天井のない車を使用する。

運搬には天井の無い車を使用してください。後退するときは後方に注意し
低速で行ってください

(守らないと)

ハンドルと天井の間に挟まれて事故を引き起こす恐れがあります。



安全に作業するために



警告

積み降ろしは、上りは前進で、降りは後進で丈夫な、すべり止めをしたアルミ板を確実に固定し、上りは前進、下りは後進でロータリーの爪等を引っ掛けないように注意し周囲に人がいないことを確かめ低速で行ってください。
(守らないと)
転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。



注意

シートは機械が充分に冷えてから掛ける。
機械にシートをかける場合は、マフラーやエンジンが充分冷えてから掛けてください。
(守らないと)
火災事故を引き起こす恐れがあります。

☆本製品の使用目的

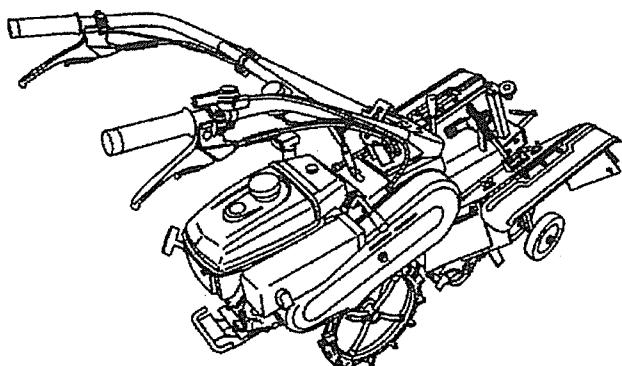
本製品は農業用の管理機です。ほ場での管理作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造は絶対にしないでください。

ハンドルの組付け方

☆ ハンドルを本体に組付ける場合はハンドルがエンジン側になる様に組付けて下さい。

注意

ハンドル組付けの際、ワイヤーをねじったり、傷つけない様注意してください。





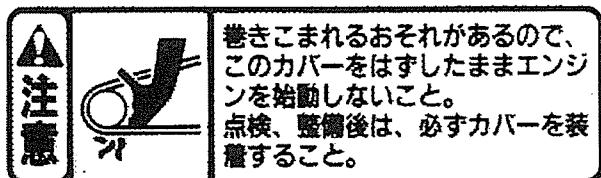
安全に作業するために

警告ラベルとその取扱い

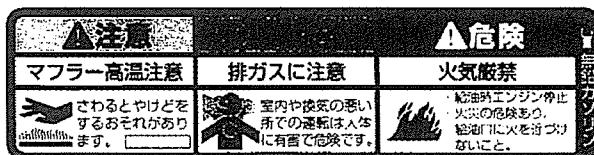
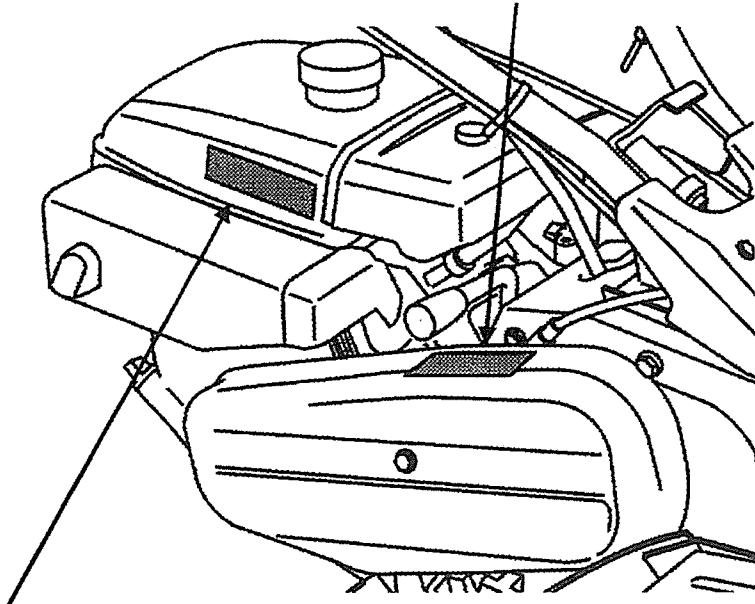
【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。

※この頁に表示のラベルは全て縮小されています。



品番 236100000452002



品番 KW56070AA



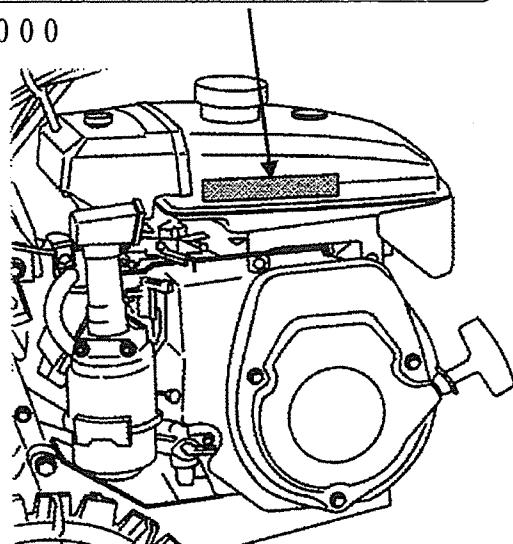
安全に作業するために



注意

- 取扱説明書をよく読んで、正しい取扱いをし、安全な作業をすること。
- エンジンを始動する時は、主クラッチレバーを「切」にすること。
- 積み落ろし、畠の出入り、坂道などでは遅い車速で運転すること。
- 作業中は、周囲に人を近づけないこと。後進時は後方を確認すること。
- 点検、整備をする時は、必ずエンジンを停止すること。

品番23610000451000



品番23610000452000

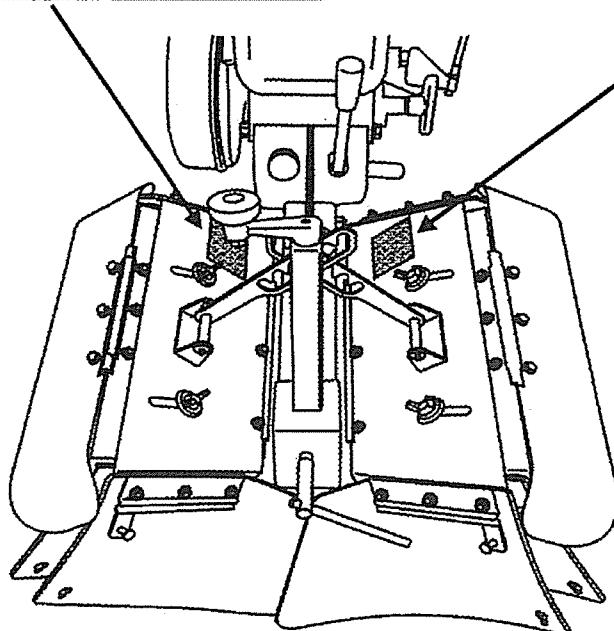


ロータリの回転部に接触すると、ケガをするおそれがあるので、回転部に近づかないこと。



作業中は石などの飛散により、人にケガをさせるおそれがあるので、機械の前方や周辺に注意すること。

品番008171870552000



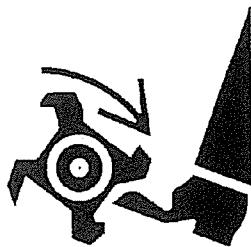


安全に作業するために

作業時の注意・禁止事項

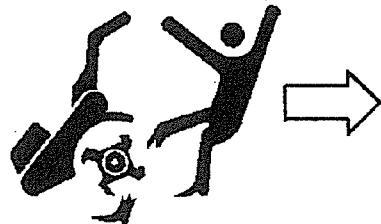
■回転している爪に注意

- ハンドル部を持ち上げ旋回するとき、足元および周囲に十分注意してください。回転する爪に巻き込まれるおそれがあります。



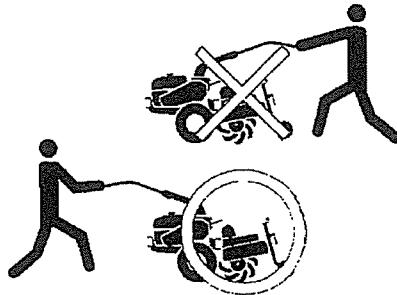
■バック耕耘禁止

- 管理機のハンドル正位置でロータリが作業者の直前にあるような後退作業は行わないでください。転倒したり、傷害物に挟まれたりした場合に死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。



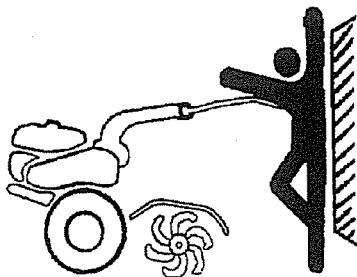
■正しい作業姿勢

- 当管理機で作業するときは、ハンドルをロータリの反対側に向け、作業者がロータリから離れた姿勢で行ってください。



■後方に注意

- バックするときは後方をよく確認し管理機の主クラッチをゆっくりと操作すること。転倒したり、傷害物に挟まれたりした場合に死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。



サービスと保証について

保証書について

お客様が保証修理を受けられる場合に必要になるものです。

よくお読みになって大切に保管してください。

■アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに、点検処置してもなお不具合があるときは、お買い上げの販売店又は直接当社にご連絡ください。

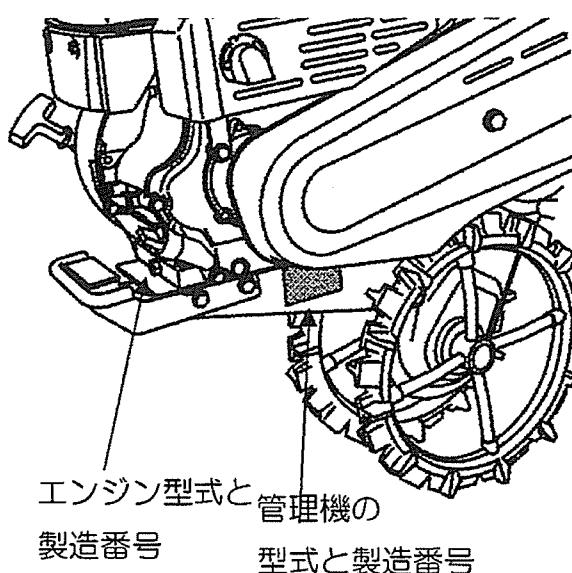
その際に連絡していただきたい内容

■管理機の型式名

■管理機の製造番号

■故障内容（できるだけ詳しく）

- どんな作業をしていましたか
- どのくらい使いましたか
(アル、又は時間)



警 告

機械の改造は危険ですので、改造しないで下さい。改造した場合や、取説に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意下さい。

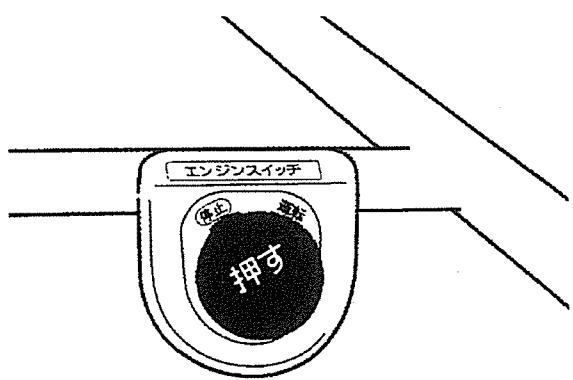
各部の名称と取扱い

1. エンジン停止スイッチ

- エンジンの停止と運転

停止……ボタンを押す

運転……ボタンを押し込み右に回し引き出す。



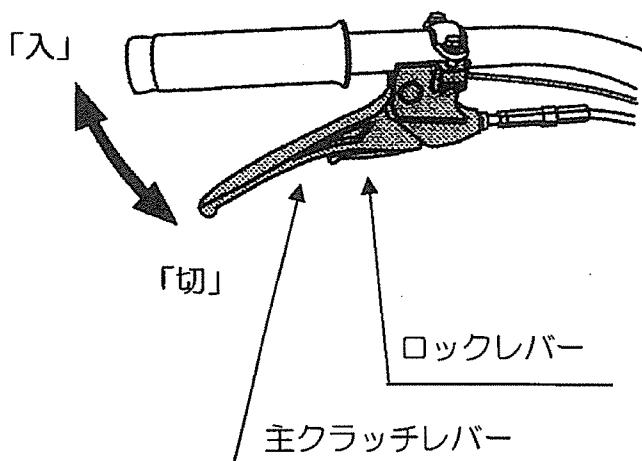
2. 主クラッチレバー

- エンジン動力の断続

「入」……レバーを握りロックを掛ける。
「切」……ロックを外しレバーを放す。

注意

※主クラッチの断続はゆっくりと行ってください。
(特にバック時はゆっくりと)

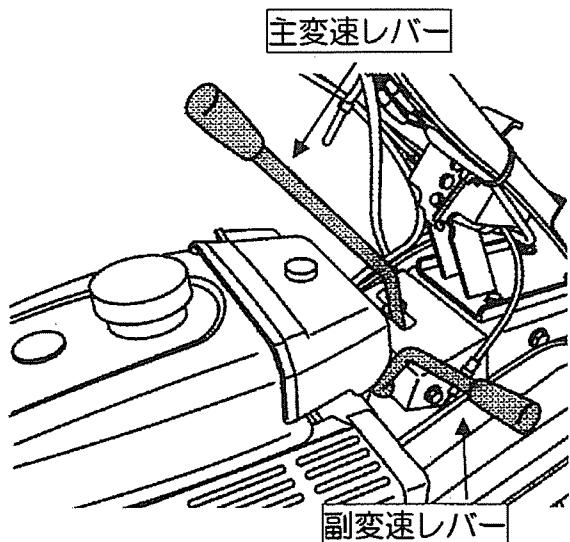


3. 主変速レバー

- 走行速度の变速

前進2段。後進1段に変速できます。

※変速操作は主クラッチレバーを「切」の位置にしてから行うこと。

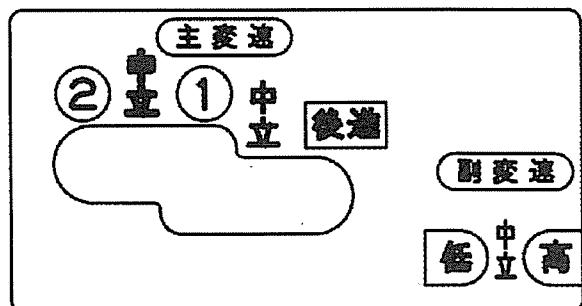


4. 副変速レバー

- 走行速度を变速します。

高、低2段に変速できます。

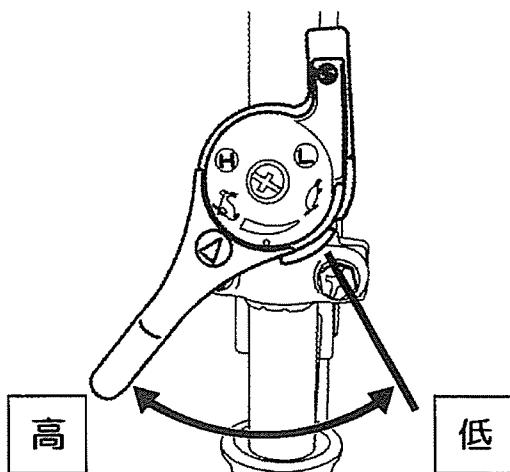
※変速操作は主クラッチレバーを「切」の位置にしてから行うこと。



各部の名称と取扱い

5. アクセルレバー

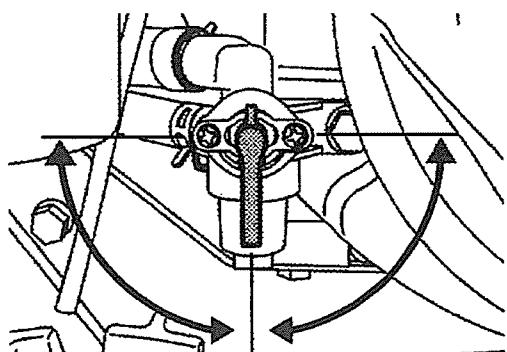
- エンジン回転の調節をします。
「高」にすると回転が速くなる。
「低」にすると回転が遅くなる。



6. 燃料コックレバー

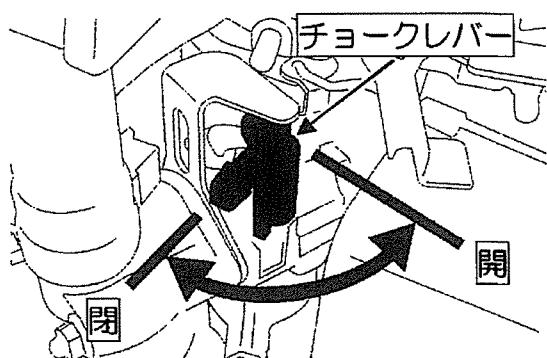
- 燃料タンクからの燃料の「供給」「停止」をします。
「C」(閉)・・・燃料停止
「O」(開)・・・燃料供給

燃料コックレバー



7. チョークレバー

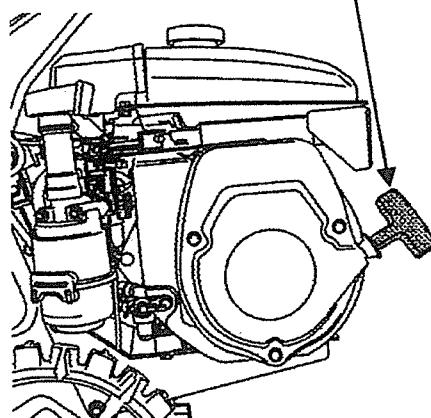
- エンジン始動時に使用します。
エンジン始動時はチョークレバーを閉にします。エンジン回転が安定したらレバー徐々に開いてください。



8. リコイルスター

- エンジンの始動をします。
リコイルスターを引っ張ると始動します。

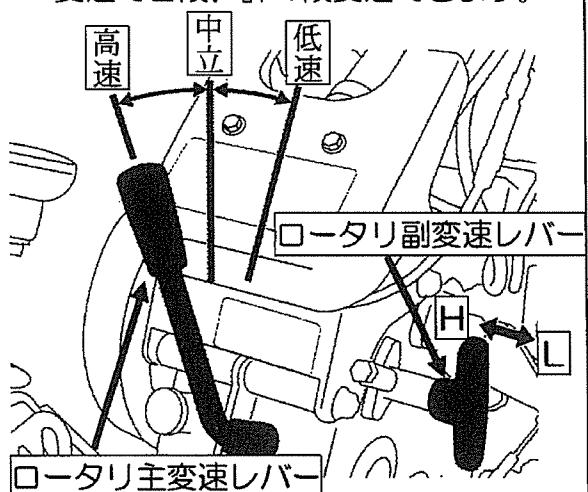
リコイルスター



各部の名称と取扱い

9. ロータリ変速レバー

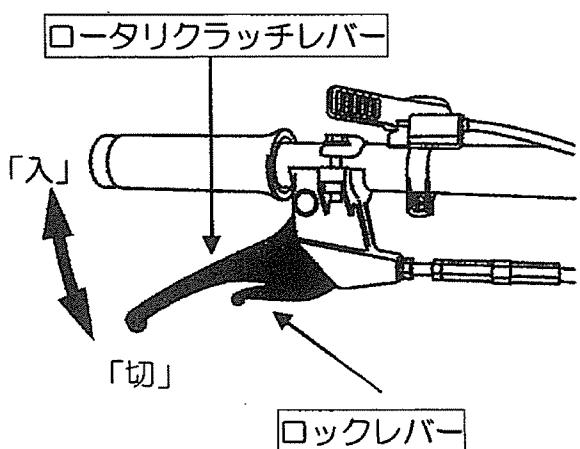
- ロータリ軸の変速をします。
ロータリ副変速で2段、ロータリ主
変速で2段、計4段変速できます。



10. ロータリクラッチレバー

- ロータリ軸への動力の断続をします。
「入」・・・レバーを握ってロックす
る。
「切」・・・ロックを外してレバーを
放す。

注意
※操作は主クラッチを切ってから行って
ください。



11. ハンドル上下レバー

- ハンドルの上下調節をします。
レバーを握ってハンドルを上下します。
(4段に調節)

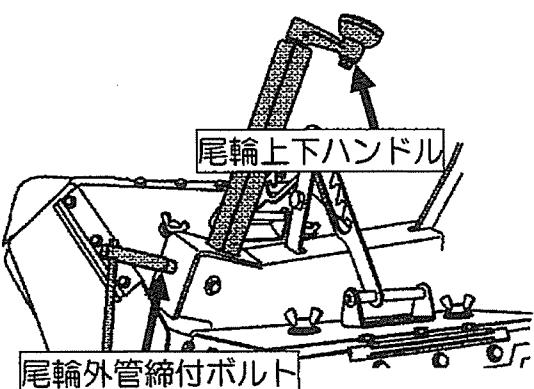


12. 尾輪締付けボルト

- 尾輪を多量に調節する場合ボルトを緩
めて尾輪を上下に調節します。
※調節後確実に締付け適時確認してくだ
さい。

13. 尾輪上下ハンドル

- 右に回す・・・耕うんが深くなる。
- 左に回す・・・耕うんが浅くなる。



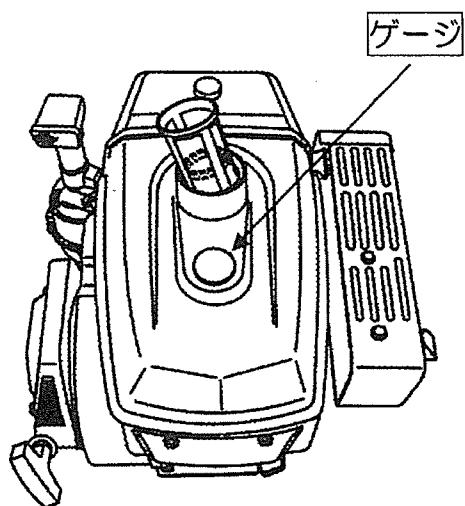
※浅めに設定し、決して無理な深さに調
節しないでください。

各部の名称と取扱い

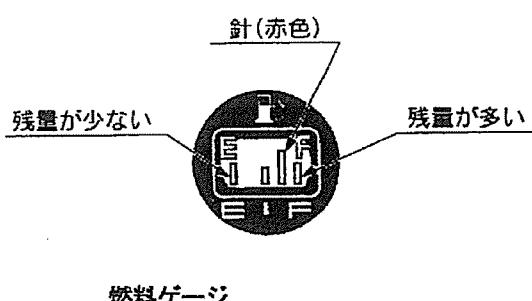
14. 燃料ゲージ

●燃料タンク内の燃料の目安の残量を確認します。

(1) 「E」側に針があると燃料が減っています。

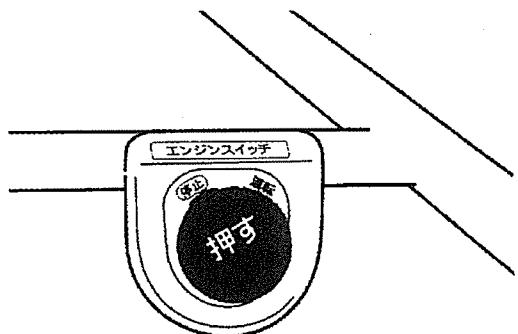


(2) 「F」側に針があると燃料があります。



15. 緊急停止スイッチ

●ハンドル中央部に設けられた赤いボタンが緊急停止のスイッチです。緊急の場合にはすばやくたたくように押してください。スイッチが「停止」の状態になりエンジンの回転が停止します。



●このスイッチはエンジン停止スイッチも兼ねています。通常のエンジンの「運転」「停止」に使用します。

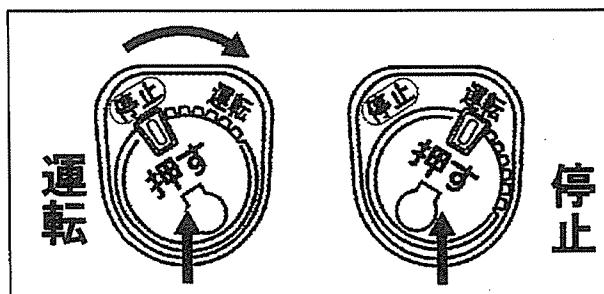
・操作方法

1. 停止

ボタンを押すと、ボタンが左に回って(反時計回り)「停止」の位置になります。エンジンの回転が止まります。

2. 運転

ボタンを押し込みロックを外し、そのまま止める所まで右に回し(時計回り)、引き上げるようにして手を放すと「運転」の位置でロックされます。



上手な運転のしかた

1. 運転前の準備

(1) ボルトナットの点検

エンジン・ホイールハブ・ハンドルなどの各部ボルト・ナットの締付けを点検します。

(2) 給油・注油

各給油箇所には工場から出荷の際オイルを入れてありません。給油・脂表に従って必ず給油します。

☆給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。

☆燃料がこぼれた時にはきれいに拭き取ってください。

☆機体を安定させて給油してください。

☆燃料が規定量以上給油されていないか確認してください。

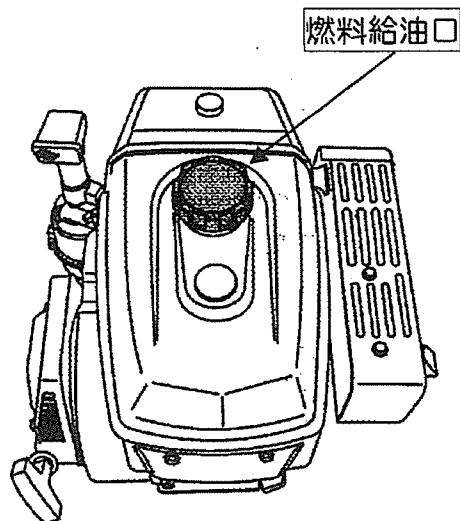
☆廃油は空地などに捨てないで適正な処理をして下さい。

《給油・脂表》

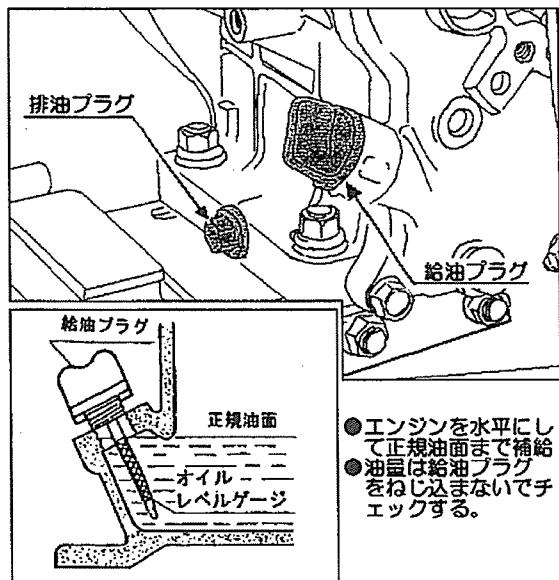
給油個所	油種	所要量	交換時期
ミッションケース	ギヤオイル SAE90#	3.5ℓ	毎日点検 100時間毎交換 (新車時20時間で)
クランクケース	エンジンオイル 10W-30#	0.55ℓ	毎日点検 50時間毎交換 (新車時20時間で)
エアクリーナ	エンジンオイル 春一秋 30# 冬 20#	OIL LEVEL	毎日点検50時間毎交換
ホイールチューブと車輪との間	グリス	適量	毎日使用前後
主クラッチレバー軸	エンジンオイル 又はギヤオイル	適量	毎日使用前
テンションアーム	エンジンオイル 又はギヤオイル	適量	毎日使用前
ワイヤー。レバー類	エンジンオイル 又はギヤオイル	適量	毎日使用前

上手な運転のしかた

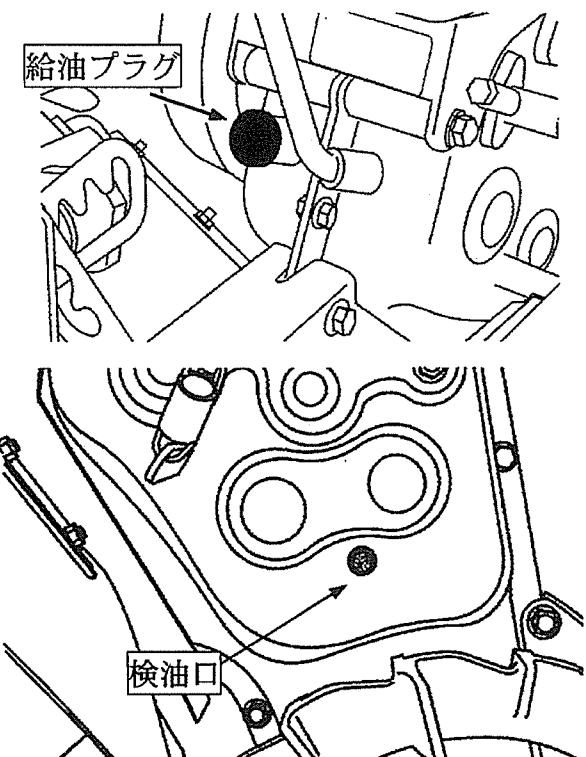
- ① 燃料タンクに燃料を入れてください。
自動車用レギュラーガソリン
規定量……3.0ℓ



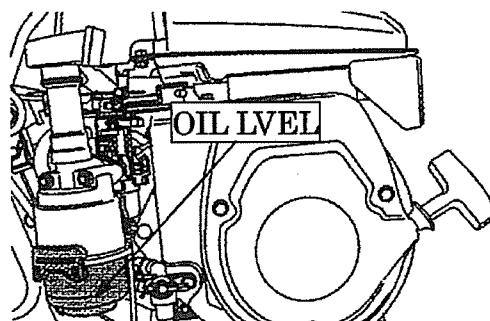
- ② エンジンオイルを入れてください。
春・秋……30#
又は10W-30
冬……20#
又は10W-30
規定量……0.55ℓ



- ③ ミッションケースにオイルを入れてください。
機体を水平にして検査口よりオイルが流れ出るまで入れてください。
規定量……3.5ℓ
ギアオイル…S A E 90 #



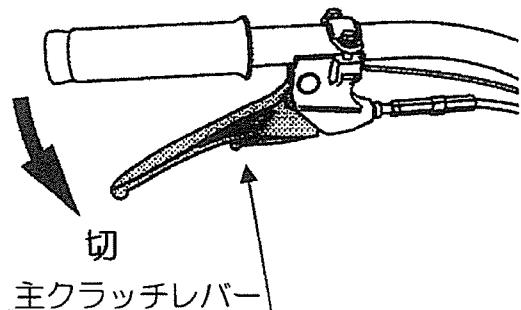
- ④ エアクリーナーにオイルをいれてください。
エンジンオイルをOIL LEVEL線まで入れてください。



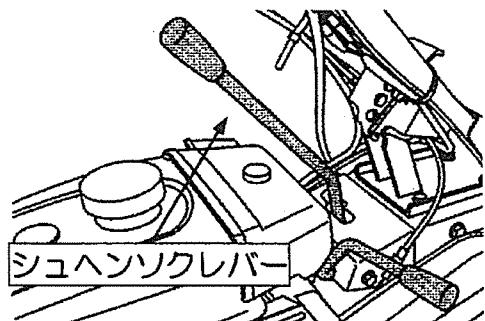
上手な運転のしかた

2. エンジンの始動

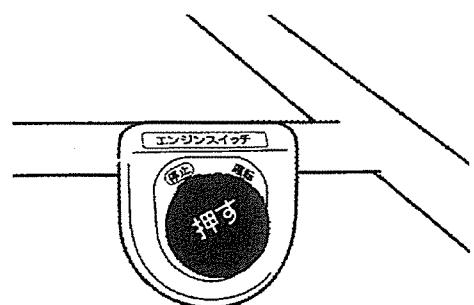
(1) 主クラッチレバーが「切」状態になっているか確認してください。



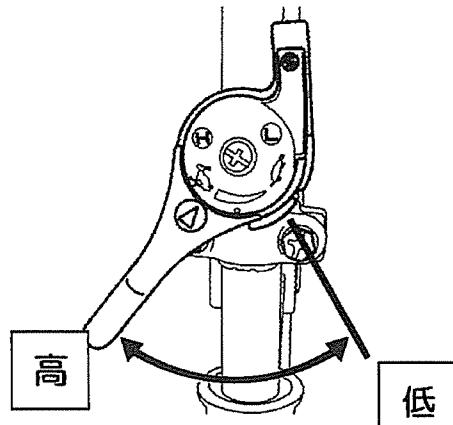
(2) 主変速レバーを「中立」にしてください。



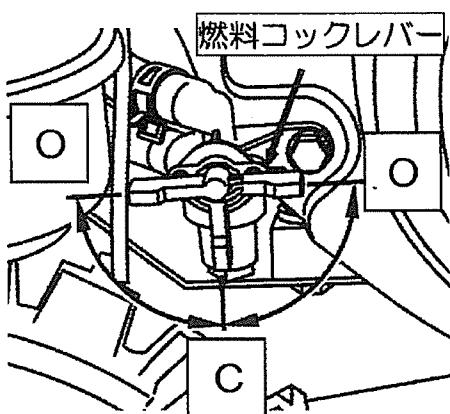
(3) エンジン停止スイッチを押込んで右方向に回して停止状態を解除し（ロックを外し）運転状態にしてください。



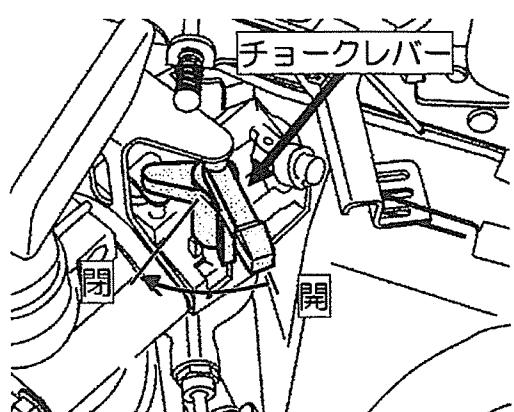
(4) アクセルレバーを「高」の位置にしてください。



(5) 燃料コックを○（開）にしてください。

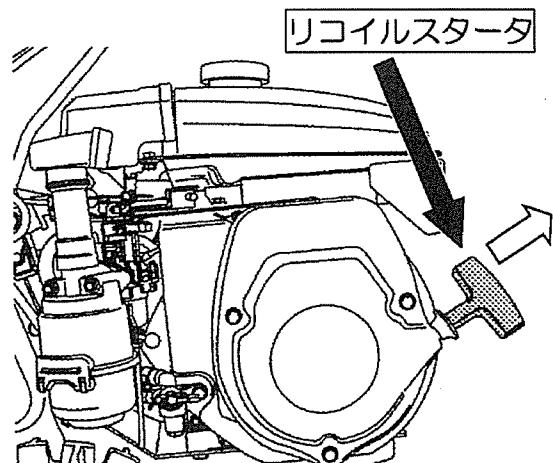


(6) チョークレバーを閉じてください。エンジンの暖まり具合によって開度を調節します。

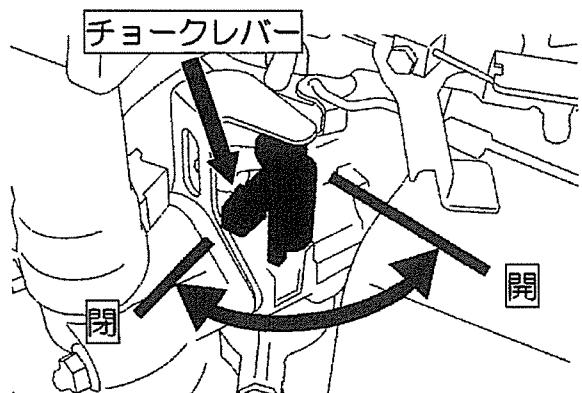


上手な運転のしかた

(7) リコイルスタータを勢いよく引いてエンジンを始動します。スタートを戻すときは静かに元に戻してください。



(7) 始動したら回転の調子を見ながらチョークレバーを徐々に全開にしてください。



3. 停止のしかた

- (1) 主クラッチレバーを「切」にします。
- (2) アクセルレバーを「低」にします。

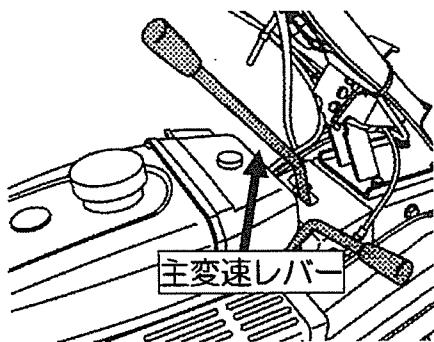
- (3) エンジン停止スイッチを押してロックするとエンジンが停止します。
- (4) 燃料コックをC(閉)にします。

重要

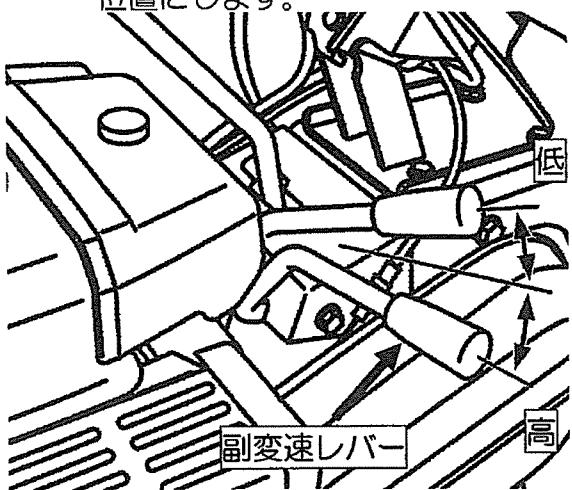
*コックを開いた状態で保管したり前に倒したり、車両で運搬するとエンジンの始動が困難となることがあります。

4. 発進のしかた

- (1) 主変速レバーを希望の変速位置にします。

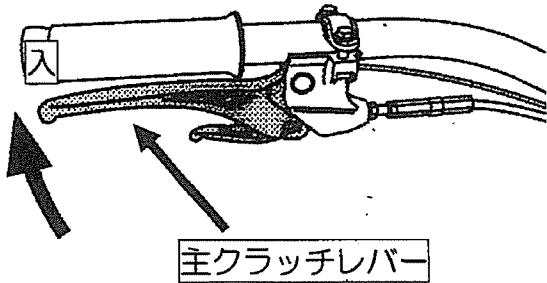


- (2) 副変速レバーを「高」「低」希望の位置にします。



上手な運転のしかた

(3) 主クラッチレバーを握って「入」にすると発進します。

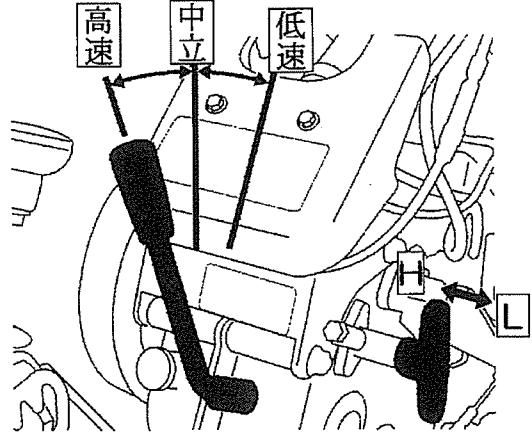


注意

主クラッチレバーはゆっくり操作してください。(特に後進はゆっくり操作)

5. ロータリ作業

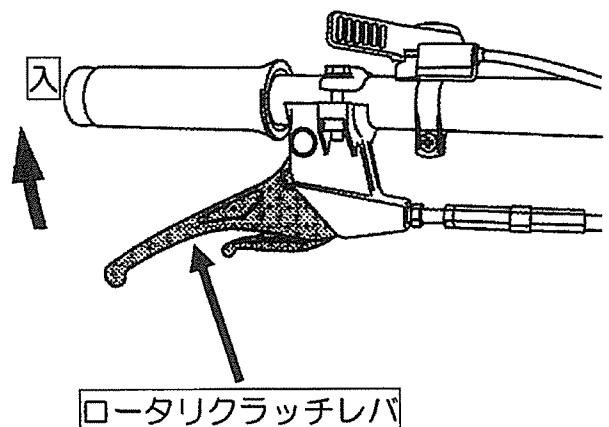
(1) ロータリ主変速レバー、副変速レバーを希望の変速位置にします。



(2) ロータリクラッチレバーを握って「入」状態(ロック)にします。

注意

*レバーを操作するときは主クラッチレバーを切ってから行ってください。

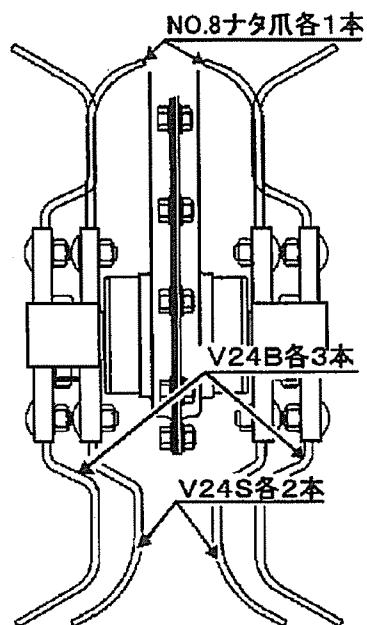


上手な運転のしかた

6. 爪軸と耕うん爪の取付け

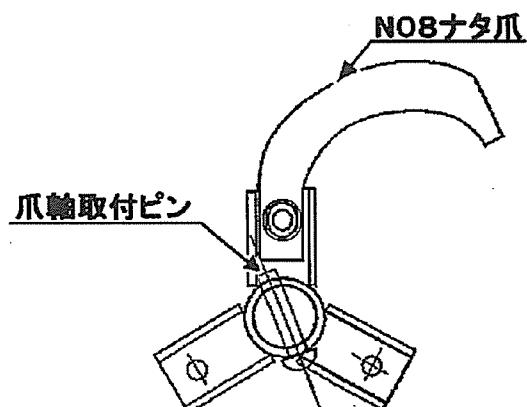
注意

- * 耕うん爪の取付けエンジンを停止させてから行ってください。
- * 取付け取外しは平坦な場所で行ってください。



注意

- * NO8ナタ爪は内側3個のブラケットの内爪軸取付けピンと同方向のブラケットに内向きに取付ける。



こんなときどうする

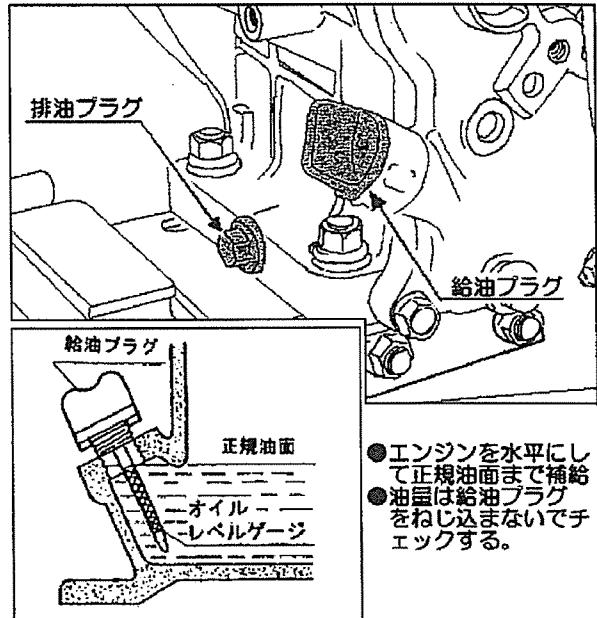
注意

- * 給排油、点検、調節、清掃中はエンジンを停止して行ってください。
- * 機体を安定させて行ってください。

1. エンジンオイルの交換

- 1) 排油のしかた
給油プラグを外しその後排油プラグを取り外し排出してください。
- 2) 給油のしかた
エンジンを水平になるようにして給油口の口元まで入れてください。
1回目は20時間でそれ以後は100時間使用毎に交換してください。

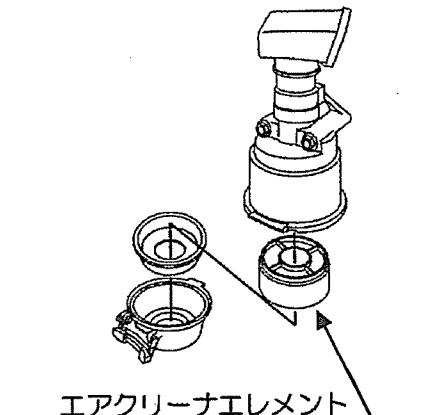
エンジンオイル
春—秋 30#又は10W-30
冬 20#又は10W-20



2. エアークリーナエレメントの清掃とオイルの交換

エレメントを取り外し白灯油で洗い白灯油をよく振り切って取付けてください。

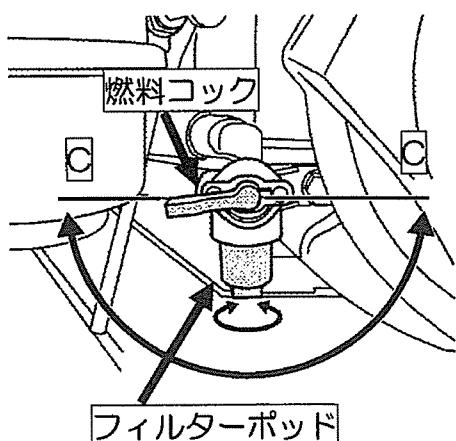
エンジンオイル
規定量0.1L LEVEL線まで
50時間使用毎に交換



3. フィルターポッドとエレメントの清掃とオイルの交換

燃料コックをC(閉)にしフィルターポッドとエレメントを取り外して清掃してください。

50時間使用毎に清掃
フィルターの汚れがひどいときは交換する。



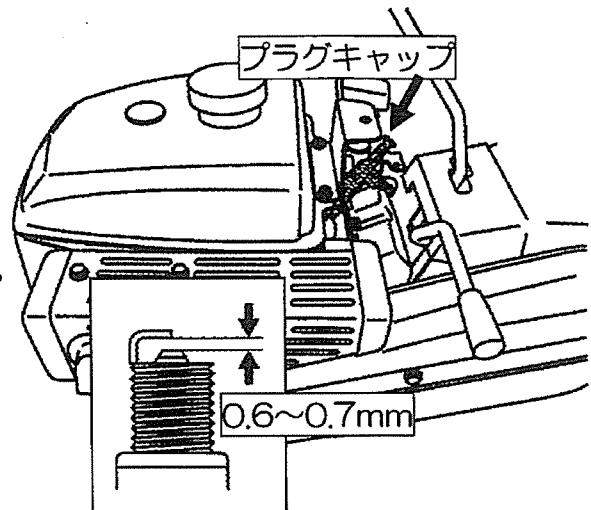
こんなときどうする

4. 点火プラグの調整と清掃

- 1) エンジンリアカバーを取外します。
- 2) プラグキャップを引き抜きます。
- 3) ボックススパナで点火プラグを外して電極を掃除します。
- 4) 電極が $0.6\sim0.7\text{ mm}$ になるよう調節します。
- 5) 6ヶ月毎に1回行ってください。

重要

*締付け時はネジ山をつぶさないよう初め手でネジ込んでからボックススパナで締め付けてください。

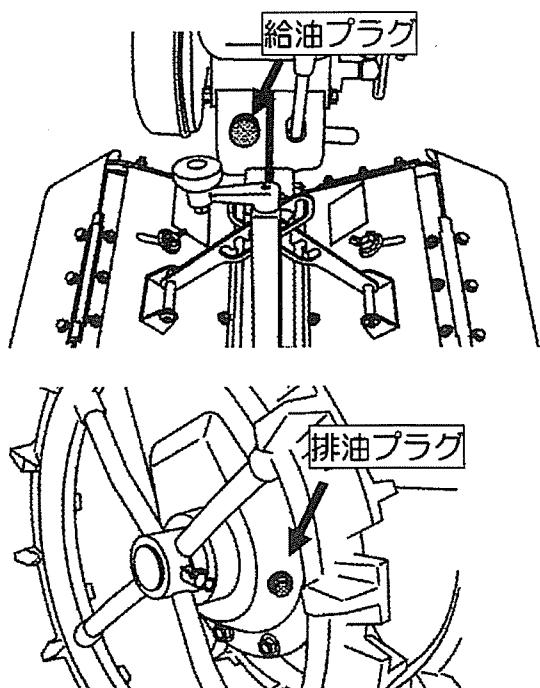


5. ミッションオイルの交換

- 1) 排油のしかた
ミッションケース車軸側の排油プラグを取り外し排油してください。
- 2) 給油のしかた
機体を水平状態にして給油プラグを取り外し検油口から油があふれるまで給油してください。

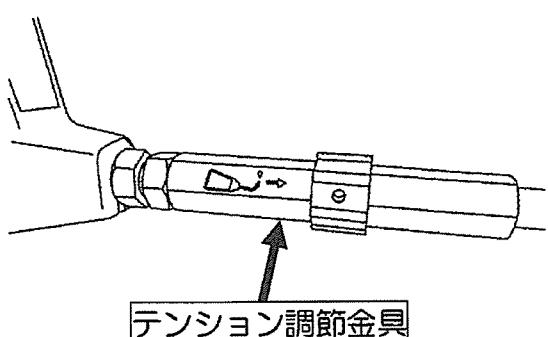
重要

*抜取った廃油は、空地等に棄てないで、専門の処理業者に委託するなど適正な処理をしてください。



6. Vベルトの張りの調節

- 1) 主クラッチケーブルによる調節
主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押さえて $10\sim15\text{ mm}$ たむ程度にケーブルを調節してください。
使用初期のベルトは伸びやすく10時間使用後ケーブルを再調節してください。



こんなときどうする

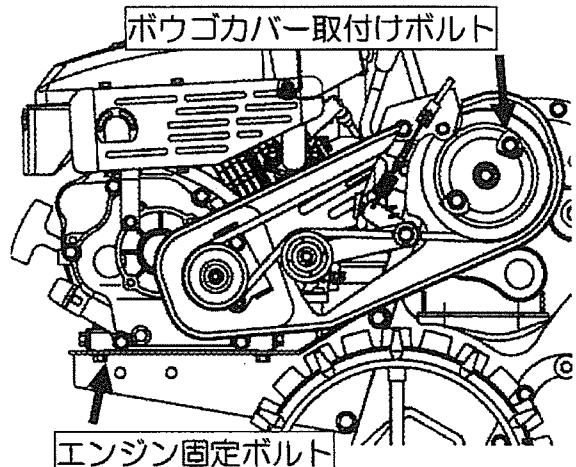
重要

クラッチケーブルを調節した場合エンジンを始動しクラッチが「入」、「切」が確実に作動するか確認してください。

(2) エンジンの前後による調節

主クラッチケーブルで主クラッチの調節が出来ないときは、エンジンを前後に移動し調節します。エンジン固定ボルトとボウゴゴカバー取付けボルトを緩めて調節してください。

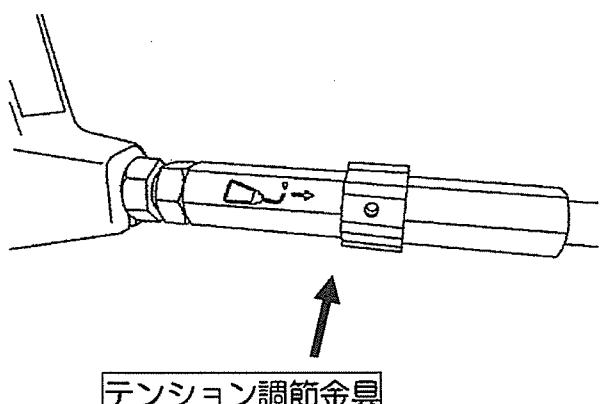
調節後ボルトは確実に締付けてください。



(3) 新しいベルトに交換する場合はベルトの中央部を指ではさんで隙間を約30mmくらいにしてエンジンを固定してください。

7. ロータリクラッチの調節

ロータリクラッチレバーによりロータリ爪軸の回転、停止を確実に行えるか点検します。「入」「切」が確実にできないときはケーブルの調節金具を調節します。



8. 耕うん軸へのグリースの塗布

耕うん軸にグリースまたはオイルを塗布していくと爪軸の脱着が楽になります。

こんなときどうする

9. 長期格納のしかた

1. 主クラッチレバーは「切」の位置で保管します。
2. ガソリンは全部抜取ってください。
3. オイルを交換します。
4. 各部をきれいに清掃します。
5. エアクリーナエレメントを清掃しておきます。
6. エンジンのシリンダー内に湿気が入って、始動が困難になるのを防止するため、リコイルスタートハンドルを引っ張って、圧縮位置で止めておきます。
7. カバーを掛けて、湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーは、エンジンが冷えていることを確認した上で、掛けてください。

仕様・諸元

品 番		23153200000001			
販売型式名(製造型式名)		K802NH-D(K802N-2型)			
機 体	全 長 (mm)	1440			
	全 幅 (mm)	490			
	全 高 (mm)	970			
	重 量 (kg)	102			
工 ジ ン ジ ン	型 式 名	GB221LN			
	総 排 気 量 (cc)	215			
	出力/回転数 (kW (PS) / rpm)	3.7 kW (5.0PS) / 1800 rpm			
	最大出力 (kW (PS))	5.1 kW (7.0PS)			
	エアクリーナ方式	マン式オイルバス			
	始 動 方 法	リコイルスターク			
	点 火 方 法	無接点式マグネット点火			
	燃料タンク容量 (l)	自動車専用無鉛ガソリン 3.0			
走 行 部	潤滑油容量 (l)	0.55			
	車軸径・形状	φ28・丸軸			
	車 軸 管	無し(オプション)			
伝 導 部	車 輪	ゴムラグ			
	主クラッチ	ベルトテンション			
	エンジン→1軸	コグベルト SA40×2			
	1軸→車軸	ギャ、チェン			
	1軸→爪軸	ギャ、チェン			
変速段数		前進4段、後進2段			
爪 回 転 数 (rpm)		L-低	L-高	H-低	H-高
		280	335	516	617

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後 9 年とします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。

市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。

市販類似品をお使いになりますと、作業効率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

品番 231532000708002



関東農機株式会社

本社工場／本社営業所 〒323-0819 栃木県小山市横倉新田 493
TEL 0285(27)3271(代) FAX 0285(27)4627

鏡石工場／福島営業所 〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町久来石 57
TEL 0248(62)4131(代) FAX 0248(62)4133

盛岡工場／東北営業所 〒028-4132 岩手県盛岡市玉山区渋民岩鼻 20-55
TEL 019(683)1911(代) FAX 019(683)1119

九州営業所 〒866-0813 熊本県八代市上片町 1351
TEL 0965(31)0730(代) FAX 0965(31)0760

製品のご相談は下記の販売店へ